

第6次中期経営計画について

2018年4月25日
JFEコンテナ株式会社

第5次中期経営計画 (2015～2017年)の成果

第5次中期(2015～2017年)の成果(1)

(国内ドラム事業)

①収益基盤の強化

「基盤整備投資」と「基幹設備投資」の計画的実行により
操業の安定と品質の向上を実現

②自主保全活動による現場力向上

- ・全工場にて展開。自主保全道場開設

③技術開発・新商品開発の推進

- ・高水準の研究開発継続(新商品・新製造プロセス)
- ・コンセプトドラム缶(S型/シーズ型商品)提案
- ・N型/ニーズ型商品の市場投入
- ・CSラボ・テクノルーム開設(お客様対応整備)

第5次中期(2015～2017年)の成果(2)

(中国ドラム事業)

①事業拡大

重慶の立上げにより売上高、販売量は新記録更新。

②収益基盤の強化

華東地区(上海・浙江・江蘇)は黒字が定着。

③高機能商品の開発、市場投入

「耐疲労破壊地板」の商品化

「高クリーン度缶」の開発

第5次中期(2015～2017年)の成果(3)

(高圧ガス容器事業)

「天然ガス自動車用容器」

- ・国内外とも需要は低迷、厳しい事業環境が続いた。

「医療用酸素容器(小型FRP容器)」

- ・順調に事業拡大。販売数新記録&黒字化達成。

「燃料電池自動車関連容器」

- ・水素ステーション用蓄圧容器を商品化、2018年度より実販売開始。「車載用容器」は次世代容器発に着手。

第5次中期(2015～2017年)の成果(4)

【経営指標達成状況】

	2014年度	2017年度	
		中期計画目標	実績
① グループ 販売数量	9,426千缶	12,000千缶	9,813千缶
② 売上高	301億円	350億円	307億円
③ 経営指標			(中期平均)
・ROS	7.8%	} 同水準を維持	8.9% (9.6%)
・ROE	8.5%		7.9% (7.8%)

第6次中期経営計画 (2018～2020年)について ～概要～

第6次中期経営計画について(1)

【環境認識(ドラム事業)】

(国内ドラム事業)

- ・主要需要部門である石油・化学業界の設備統廃合や海外生産移管を受け、中期的な内需縮減傾向は継続。化学製品の多様化、機能化学品へのシフトが進展する。

(中国ドラム事業)

- ・石油・化学製品需要の伸びは鈍化するものの、中期的には安定的な成長が見込まれる。国内の供給能力過剰による過当競争は解消されず環境規制の強化や人件費の増加で厳しい事業環境が続くが、マーケットニーズの多様化・高度化に対応した新商品投入による拡販等、成長の余地は大きい。

第6次中期経営計画について(2)

【環境認識(高圧ガス容器事業)】

- ・天然ガス自動車用容器は国内外で需要は伸び悩み。一方、医療用酸素容器、及び水素高圧容器は市場拡大が期待され、経営資源を集中的に投下する。

○医療用酸素容器

- ・高齢化や在宅医療の拡大、代替需要に伴い市場規模は拡大。今後も引続き需要の増加が望める。

○水素高圧容器

- ・本格的な普及に向け官民上げた動きが加速、2020年度までに水素ステーションは160箇所へ拡大、FCVは40千台/年の販売見通し。

第6次中期経営計画について(3)

【中期企業ビジョン】

常に時代に先んじ、世界最高の技術をもって
顧客の夢を実現し、安全・健康で豊かな社会
づくりに貢献する **「産業容器の開拓者」**

小さくても自由闊達にして活気あふれる
「ナンバーワングローバル企業」
を目指します。

第6次中期経営計画について(4)

【経営方針】

- (1) 国内ドラム事業の競争力強化**
- (2) 中国ドラム事業の量・質的成長と
収益拡大**
- (3) 高圧ガス容器の事業化**

第6次中期経営計画について(5)

【重点施策】

(1) 国内ドラム事業の競争力強化

- ① 機能維持・改善投資や先進技術・設備の導入、計画的修繕の徹底等により持続的な成長基盤を確立する。
- ② マーケットや需要家のニーズの変化に即応した新商品開発の加速と成長分野の需要開拓強化
- ③ 業務効率化・働き方改革に向けた自動化/ IoT、RPA技術等の積極的導入

第6次中期経営計画について(6)

【重点施策】

(2) 中国ドラム事業の量・質的成長と収益拡大

- ① 拡販強化によるグループ販売数量1,100万缶超えの達成
- ② 4工場の効率的生産体制の追及
 - ・華東地区一体運用、各工場の強みの最大活用など
- ③ 収益基盤強化策の実行
 - I. 安定操業、安定品質の徹底
 - II. 効率的要員体制
 - III. 調達方法の多様化
 - IV. 高機能商品の積極的導入
 - V. 新規ビジネスモデル構築を含む拡販策の実行

第6次中期経営計画について(7)

【重点施策】

(3) 高圧ガス容器の事業化

→ 研究開発から商業事業化へ（2020年度に事業黒字化を目指す。）

- ① 医療用酸素容器（小型FRP容器）の拡大
- ② 水素関連容器の本格供給
 - 「水素ステーション用蓄圧容器」
 - 「小型商用車用車載容器」
 - 「鉄道車両、小型船舶、無人機など関連機器向け容器」
- ③ 小型乗用車・商用車用車載容器の開発

第6次中期経営計画について(8)

【中期経営目標】

- ・持続的な成長基盤、安定的な収益基盤を確立するため、人と技術、設備に経営資源を集中投入する。

	2017年度	中期経営目標 (2020年度)
① ドラム缶販売数量	9,813千缶	11,000千缶
② 売上高	307億円	320億円
③ 経常利益	27.2億円	30.0億円

	2015～2017年度実績	第6次中期経営計画 (2018～2020年度)
① 設備投資・修繕費	ベース	実績比 50%増
② 研究開発費		

以 上